

英 語 英 米 文 学 専 攻 (修 士 課 程)

【教育研究上の特徴・目的】

本専攻には英語学・言語科学、英語圏文学・文化という研究分野がある。英語学・言語科学分野では統語論、意味論、語用論、音声学、音韻論、心理言語学など、多様な視点から言語活動にかかわる研究を行なう。英語圏文学・文化の分野では、歴史的文書や思想書なども含めた古典から現代に至る様々なジャンルの文学を研究対象とすると同時に、英米の文化的諸問題を歴史学の観点から解明することにも努める。本専攻の特徴は、各分野独特のアプローチを基盤にしつつも、広く英語による思考や発想を鍛え、英語、ならびに英語で表現された世界を総合的に研究していくことにある。

教育基本方針

甲南大学大学院人文科学研究科英語英米文学専攻は、英語学・言語科学、英語圏文学・文化の先端的知見を教授することにより、創立者平生 鈺三郎が主唱した「世界に通用する紳士・淑女たれ」という理念を具現化することを目標としています。【修士課程】では確かな英語運用力と、専門分野に関する豊かな学識をもった人材の育成に努め、【博士後期課程】では英語による受信・発信能力を駆使して研究活動をおこない、国際相互理解の促進に寄与する優れた高度専門職業人、研究者の育成に努めます。

修了認定・学位授与の方針

甲南大学大学院は、大学院学則第1条に定める、甲南大学教育精神に基づいて育成された一般的及び専門的教養を基盤として、学術の理論と応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、人類文化の向上発展と社会福祉の増進に貢献することを目的としています。

人文科学研究科英語英米文学専攻においては、本研究科及び本専攻の教育基本方針のもと、下記の能力・資質を身につけ、社会及び学術の発展・向上に寄与できる人材の育成を教育目標とします。課程の修了にあたっては、本研究科の定める期間在学し、本専攻の定める課程修了に必要な単位を取得のうえ、論文等の審査及び最終試験に合格した者に修士（文学）の学位を授与します。

【修士課程】

- (1) 英語学・言語科学、英語圏文学・文化に関する幅広い知識と豊かな教養を身につけ、専門的知識を有する職業人として各自の研究課題を追究するための能力を有しています。
- (2) 高度な英語運用能力、専門的知識と技能を修得し、広い視野と高い倫理観を備えています。

教育課程編成・実施の方針

人文科学研究科英語英米文学専攻では、学位授与の方針に掲げる能力・資質等を修得させるために、英語学・言語科学、英語圏文学・文化という2つの専門領域の科目を体系的に編成し、それぞれの領域で講義、演習を適切に実施します。また、学位論文の作成等に対する指導を行います。加えて、修了認定・学位授与の方針と各科目の関係性及び到達目標を示すカリキュラムマップ、カリキュラムの体系性・系統性を示すカリキュラムツリーを提示し、カリキュラムの構造をわかりやすく明示します。

カリキュラムは、到達目標に定める学生の知識・能力の修得状況を検証することにより、組織的かつ定期的に見直し・改善を行います。

教育内容、教育方法、評価については以下のように定めます。

【修士課程】

1) 教育内容

英語学・言語科学、英語圏文学・文化の各研究領域に関する専門的知識を有する職業人として必要な研究能力を習得するため、組織的な研究指導体制のもとで、専門的知識・技能を習得する教育課程を編成し、実施します。

2) 教育方法

- (1) 修士課程の教育は、1)に掲げた教育内容を、授業及び研究指導によって行います。
- (2) 授業は、講義、演習のいずれかにより、又はこれらの併用により実施します。
- (3) 研究指導は、演習や個別指導により実施します。

3) 評価

- (1) 単位の認定については、大学院学則第9条に基づき、筆記試験、口述試験、報告等及び各科目のシラバスに定める方法によって学期末又は学年末に評価します。
- (2) 修士論文、修士論文に代わる研究成果物及び修士論文に代わる研究報告の審査並びに最終試験は、本専攻の定める審査基準に基づく方法により行い、その結果に基づき可否を判定します。

カリキュラムマップ								
修了認定・学位授与の方針（DP）								
(1)	英語学・言語科学、英語圏文学・文化に関する幅広い知識と豊かな教養を身につけ、専門的知識を有する職業人として各自の研究課題を追究するための能力を有しています。							
(2)	高度な英語運用能力、専門的知識と技能を修得し、広い視野と高い倫理観を備えています。							
到達目標							対応する修了認定・学位授与の方針(DP)の番号	
A	英語圏文学と関連諸分野についての専門的知識をもち、高度な英語運用能力とともに高度な研究遂行能力を有している。						(1)(2)	
B	英語圏文化と関連諸分野についての専門的知識をもち、高度な英語運用能力とともに高度な研究遂行能力を有している。						(1)(2)	
C	英語学・言語科学における多様な領域について専門的知識をもち、高度な英語運用能力とともに高度な研究遂行能力を有している。						(1)(2)	
D	研究の遂行に必要な高度に論理的かつ的確な英語論文を執筆する能力を有している。						(2)	
E	専攻・領域を超えて、多様化する社会に対応した幅広い専門的知見と柔軟な思考力を有している。						(1)(2)	
授業科目表（人文科学研究科 英語英米文学専攻(修士課程)）				〔2026年度(令和8年度)の入学生に適用〕				
授業科目名			単位数	到達目標				
				A	B	C	D	E
専門科目	選択必修A	英米文学演習Ⅰa	2	○				
		英米文学演習Ⅰb	2	○				
		英米文学演習Ⅱa	2	○				
		英米文学演習Ⅱb	2	○				
		英米文学演習Ⅲa	2	○				
		英米文学演習Ⅲb	2	○				
		英米文学演習Ⅳa	2	○				
		英米文学演習Ⅳb	2	○				
		英米文化演習Ⅰa	2		○			
		英米文化演習Ⅰb	2		○			
		英米文化演習Ⅱa	2		○			
		英米文化演習Ⅱb	2		○			
		英米文化演習Ⅲa	2		○			
		英米文化演習Ⅲb	2		○			
		英米文化演習Ⅳa	2		○			
		英米文化演習Ⅳb	2		○			
	選択必修B	英語学演習Ⅰa	2			○		
		英語学演習Ⅰb	2			○		
		英語学演習Ⅱa	2			○		
		英語学演習Ⅱb	2			○		
		英語学演習Ⅲa	2			○		
		英語学演習Ⅲb	2			○		
		英語学演習Ⅳa	2			○		
		英語学演習Ⅳb	2			○		
	選択	英米文学特殊講義Ⅰa	2	○				
		英米文学特殊講義Ⅰb	2	○				
		英米文学特殊講義Ⅱa	2	○				
		英米文学特殊講義Ⅱb	2	○				
		英米文学特殊講義Ⅲa	2	○				
		英米文学特殊講義Ⅲb	2	○				
		英米文学特殊講義Ⅳa	2	○				
		英米文学特殊講義Ⅳb	2	○				
		英米文化特殊講義Ⅰa	2		○			
		英米文化特殊講義Ⅰb	2		○			
		英米文化特殊講義Ⅱa	2		○			
		英米文化特殊講義Ⅱb	2		○			
		英米文化特殊講義Ⅲa	2		○			
		英米文化特殊講義Ⅲb	2		○			
		英米文化特殊講義Ⅳa	2		○			
		英米文化特殊講義Ⅳb	2		○			
		統語論Ⅰa	2			○		
		統語論Ⅰb	2			○		
		統語論Ⅱa	2			○		
		統語論Ⅱb	2			○		

授業科目名			単位数	到達目標				
				A	B	C	D	E
専門科目	選択	音声学Ⅰ a	2			○		
		音声学Ⅰ b	2			○		
		音声学Ⅱ a	2			○		
		音声学Ⅱ b	2			○		
		音韻論Ⅰ a	2			○		
		音韻論Ⅰ b	2			○		
		音韻論Ⅱ a	2			○		
		音韻論Ⅱ b	2			○		
		意味論Ⅰ a	2			○		
		意味論Ⅰ b	2			○		
		意味論Ⅱ a	2			○		
		意味論Ⅱ b	2			○		
		心理言語学Ⅰ a	2			○		
		心理言語学Ⅰ b	2			○		
		心理言語学Ⅱ a	2			○		
		心理言語学Ⅱ b	2			○		
		アカデミック・ライティングⅠ a	1				○	
		アカデミック・ライティングⅠ b	1				○	
		アカデミック・ライティングⅡ a	1				○	
		アカデミック・ライティングⅡ b	1				○	
専攻横断科目		日本文学の主要問題 a	2					○
		日本文学の主要問題 b	2					○
		日本語学の主要問題 a	2					○
		日本語学の主要問題 b	2					○
		英語学の主要問題 a	2					○
		英語学の主要問題 b	2					○
		英米文学の主要問題 a	2					○
		英米文学の主要問題 b	2					○
		英米文化の主要問題 a	2					○
		英米文化の主要問題 b	2					○
		応用社会学の主要問題Ⅰ	2					○
		応用社会学の主要問題Ⅱ	2					○
		歴史学と地理学の主要問題Ⅰ	2					○
		歴史学と地理学の主要問題Ⅱ	2					○
		人間科学の主要問題Ⅰ	2					○
		人間科学の主要問題Ⅱ	2					○
		人間科学の主要問題Ⅲ	2					○
		人間科学の主要問題Ⅳ	2					○
		人間科学の主要問題Ⅴ	2					○
		人間科学の主要問題Ⅵ	2					○
		人間科学の主要問題Ⅶ	2					○
関連基礎科目		英語英米文学研究Ⅰ	2					○
		英語英米文学研究Ⅱ	2					○
		英語英米文学研究Ⅲ	2					○
		英語英米文学研究Ⅳ	2					○

[所定の単位]

専門探究コース

1. 英語圏文学・文化を専修する者は、選択必修 A（12単位以上）、選択科目を併せて32単位以上修得すること。
2. 英語学・言語科学を専修する者は、選択必修 B（8単位以上）、選択科目を併せて32単位以上修得すること。
3. 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目（専門科目に限る。）を、専攻横断科目と併せて8単位を上限として選択科目に充てることができる。
4. 研究指導教員が必要と認めるときは、関連基礎科目については、8単位を上限として選択科目に充てることができる。

多元教養コース

1. 英語圏文学・文化を専修する者は、選択必修 A（12単位以上）、専攻横断科目（8単位以上12単位以内）、選択科目を併せて32単位以上修得すること。
2. 英語学・言語科学を専修する者は、選択必修 B（8単位以上）、専攻横断科目（8単位以上12単位以内）、選択科目を併せて32単位以上修得すること。
3. 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目（専門科目に限る。）については、8単位を上限として選択科目に充てることができる。
4. 研究指導教員が必要と認めるときは、関連基礎科目については、8単位を上限として選択科目に充てることができる。

リカレントコース

1. 選択必修 A、選択必修 B、専攻横断科目、選択科目を併せて40単位以上修得すること。
2. 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目（専門科目に限る。）については、8単位を上限として選択科目に充てることができる。
3. 研究指導教員が必要と認めるときは、関連基礎科目については、8単位を上限として選択科目に充てることができる。